

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. 瀬戸市の財政強化策を「ふるさと納税」の視点から考察する。 【質問趣旨】 「ふるさと納税」は2008年5月に開始された、都市集中型社会における地方と大都市の格差の是正・人口減少地域における税収減少対応と地方創生を主な目的とした寄附金税制の1つです。 「ふるさと納税」の利用者の裾野は広がり、大都市から地方への財源移転も進んでいる。地方で育った人が都市部に流れて、ふるさとに税を納めるといふ、財源の是正に一定の効果が見受けられる。自治体の財政強化策として、「ふるさと納税」が果たす役割や、取り組むべき課題を	(1) 瀬戸市の財政面から見た「ふるさと納税」の現状と分析 (2) 「ふるさと納税」の推進方策を「Company」(自社)つまり、瀬戸市の視点から伺う。	① 本市への令和5年度「ふるさと納税」の寄附額は1億8,282万円であった。他自治体への寄附による市民税控除額が3億6,378万円、事務経費が8,588万円、一方、市民税控除額の75%にあたる2億7,284万円が地方交付税として補填され、企業版ふるさと納税も合わせると、実質的な収支は2,691万円のプラスの状況であった。この実績に対する評価を伺う。 ② 「ふるさと納税」制度における収支については、全国の自治体の実績として、その財源の流入と流出額が公表されている。実績と評価を踏まえ、「ふるさと納税」制度における収支が財政に与える影響と目指すべき状況について伺う。 ① 「ふるさと納税」は、税収を確保するだけでなく、地域の特産品や観光資源のプロモーションに繋がり、地域の魅力を全国に発信する機会となる。本市が強みと考える施策や資源をしっかりと発信していくことが必要と考えるが、見解を伺う。 ② 地域ごとにそれぞれ魅力ある返礼品がある中で、本市の強みを考えると、やきもの関連の返礼品の推進は強化すべきと考えるが見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
今回は、3つのC 「C o m p a n y」 自社 「C u s t o m e r」 顧客 「C o m p e t i t o r」 競合、3Cの視点から、 瀬戸市の持続可能な財政力を 実現するための「ふるさと納 税」の推進方策を伺う。		③ 多くの自治体では、「ふるさと納税」で得た寄附金を教育、福祉、災害復興、 インフラ整備などの地域課題の解決に活用している。本市としては、「市長 にお任せ」と第6次瀬戸市総合計画で位置付ける「都市像①②③」という形で 活用しているが、なぜその使途なのか、また、具体的な活用事業について、 見解を伺う。 ④ 本市は、企業版「ふるさと納税」を活用し、本市独自のプロジェクトとして、 今年度は、誰もが1日そこで楽しめる“居心地の良い図書館”プロジェクト目標 1億円、明日また行きたくなる学校づくりプロジェクト目標5,000万円 子どもが安心して登校できる通学路整備プロジェクト目標1,500万円 みんなが利用できるインクルーシブな公園づくりプロジェクト目標1,500万円 災害時における医療的ケア児の安心確保プロジェクト目標300万円を、 行っている。この制度は企業の税負担を軽減しつつ、地域貢献できる制度 であるが、なぜ本年度はこれらのプロジェクトなのか、見解を伺う。 ⑤ 企業版「ふるさと納税」は、多くの寄付額を見込めるとともに、企業にとって の税制面のメリットがあることから、強化、推進していくべきと考えるが、 見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3)「ふるさと納税」の推進方策を「Customer」(顧客)つまり寄附者からの視点から伺う。 (4)「ふるさと納税」の推進方策を「Competitor」(競合)つまり他の自治体の視点から伺う。	① 「ふるさと納税」を考える際に重要なことは、本市からすると顧客である他市町村の寄附者がどのような理由で本市へ寄附をするのかを考えることであるが、寄附する理由をどのように考えているのか、見解を伺う。 ② 全国の「ふるさと納税」の返礼品の上位3品目は、1位：米、2位：海産物、3位：お肉である。本市の人気商品は、1位：日用生活品、2位：食料品、3位：グッズだが、この結果から、寄附者が返礼品を選ぶ際に何を重視していると考えているか、見解を伺う。 ③ 寄附者の多様な価値観に訴求するため、寄附者が応援したいと思える本市の魅力を感じることでできる場所、人、商品にスポットを充てた返礼品を考えるべきと考えるが、見解を伺う。 ④ 令和5年度全国で納税受入額の上位3市町村は、1位：宮崎県 都城市 194億円、2位：北海道 紋別市 192億円、3位：大阪府泉佐野市 175億円です。競合する他市町の提供する返礼品の魅力や独自性について、本市の見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		② 近隣自治体には、同じ陶磁器産業の盛んな岐阜県土岐市や岐阜県多治見市、愛知県常滑市などがあるが、岐阜県土岐市では、令和3年度の「ふるさと納税」寄附金が2億8,000万円、令和4年度：5億3,000万円、令和5年度：6億円と右肩上がりの成果が伺える。本市においても、本市の魅力の発信や地域産業の活性化など、「ふるさと納税」を活用した歳入確保の方策には、本市職員の人材に加え、他市が取り入れている中間事業者のようなプラスαの力も必要と考えるが、見解を伺う。 ③ 本市の「令和5年度決算に係る主要な施策の成果に関する報告書」では、寄附金額の令和7年度の目標を3億円としている。来年度、新たな中間事業者業務委託し、土岐市などの実績を考えると、もっと目標金額を上げて良いと考えるが、見解を伺う。 ④ 他自治体にはない本市の魅力として、やきもの産業以外にも将棋がある。個人的な商品を返礼品にすることは難しいが、将棋文化を振興する商品やサービスは、魅力ある返礼品と考えるが、見解を伺う。 ⑤ 将棋関連の返礼品として考えるほかに、将棋に関することをプロジェクト化し、ガバメントクラウドファンディングとして財源を確保することは、「将棋のまち瀬戸」として本市の魅力を発信しながら寄附金を募る絶好な事業と考えるが、見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。